

「人権教育研究指定校事業」事業実施計画書

Ⅱ. 研究指定校における取組

研究指定校名 : 七尾市立田鶴浜中学校

1. 学校の概要

学校名	七尾市立田鶴浜中学校
学級数	通常学級：各学年2学級で全6学級，特別支援学級：1学級
児童生徒数	全生徒数：152人（平成24年4月1日現在）
URL	http://www.city.nanao.lg.jp/hamatyu/

2. 調査研究のテーマ

(1) 調査研究のテーマ

「学び合い，認め合い，高め合う生徒の育成を目指して」
～心の響き合いと絆づくりを意識した人権教育指導の在り方～

(2) 調査研究のテーマを設定した背景

本校の生徒は，素直で優しく，何事にも真面目に取り組む。しかし，一方で，一部の生徒においては，自己中心的な言動によるトラブルや相手を傷つける言葉かけをしてしまったり，話し合いで自分の考えを伝えることに消極的になってしまったりと，他者との関わりにおいての課題も見受けられる。そのような実態を踏まえて，教育活動全体における人権教育の指導体制を整えながら，他者と関わる体験活動の充実とより良く関わるコミュニケーション能力の伸張を目指し，単元構想の在り方や指導方法の工夫・改善に努めてきた。「心は響き合う」姿を意識した取組を進めることにより，共感・説明・活躍しようとする態度の向上が見られ，自己有用感が増している。
今年度はさらに生徒が主体的に取り組む共同的な活動を通じた絆づくりを進めることで社会性の向上を目指し，人権教育の充実を図っていきたいと考える。

3. 調査研究の推進体制

校長－教頭－研究推進委員会－全体研修会－
「響き合い」授業実践部
「響き合い」活動実践部－PTA・地域との連携

4. 調査研究の内容等

(1) 調査研究の内容・実施計画

【内容】

人権教育を推進する上で，人権教育の3つの柱を設定し，その柱の中に全教育活動を位置づけながら，「心の響き合い」「絆づくり」をキーワードに，次のことを研究内容として取り組む。

① 人権教育の基盤指導（人間関係づくりの場の設定）

☆以下の活動を通して，よりよい人間関係を育成するための取組を行う。

- ア 「地域の高齢者とのふれあい集会」「福祉施設との交流」等，保護者や地域とのふれあいを大切にしたい行事や取組
- イ 七尾まだら等の地域の伝統文化に触れ，「運動会での発表」を通して，全校一丸となった活動
- ウ 生徒の主体性を大切にしたい生徒会活動での肯定的な評価の推進と継続
- エ 自分たちを見つめ直し，お互いにより良い学校を築き上げていくための主体的，共同的な場を設定し，生徒の意識の流れを大切にしたい集会活動（仮称 絆集会）

② 人権教育の直接指導（人権を学び，人権感覚を高める）

☆以下の活動を通して，人権についての理解を深め，知識を学ぶ機会を設け，共通理解のもと，目指す姿を共有しながら，安心できる雰囲気づくりや認め合う雰囲気づくりなど，人権感覚を向上させるための取組を行う。

- ア 人権についての知識や理解を深めるための人権学習集会や，話し合い活動を入れながら平和についての理解を深める平和集会，人権の日（毎月15日）の人権作文に触れ，お互いの感想から思いを知り合う場，お互いに認め高め合う場としてメッセージを寄せ合う「心をつなぐ木」等の掲示物の工夫
- イ 教職員の人権感覚を高めるための，第3次とりまとめでの資料を参考にした「人権教育について学習する」校内研修会や人権に関する講演会等の実施
- ウ 共通理解を深め，課題意識や目標意識をしっかりと持たせるための，人権アンケートや「響き合いチェックカード」等の意識調査と指導への利用
- エ 人権の視点を踏まえた授業実践，道徳教育

③ 人権教育の基本指導（生徒指導の3つの視点を生かした授業・領域）

☆以下の活動を通して、心が響き合う授業・活動づくりを進める。

- ア 生徒指導の3つの視点から、「共感」「説明」「活躍」する場を設定することで、「心の響き合い」を目指す授業・領域の実践
- イ 主体性を尊重した、自己決定の場がある生徒会活動
- ウ 「心のなる木」, 「スターチス賞」など、共感的な相互評価を掲示するなど、お互いの思いを知る場の設定
- エ 地域との交流を中心とした「一人1ボランティア」等の様々な体験活動

【実施計画】

時 期	内 容	備 考
4 月	<ul style="list-style-type: none"> ・研究推進委員会開催 (主題, 組織づくり, 研修計画について協議・検討) ・校内研修会(人権学習会) ・全体研修会(各部会の計画及び実施事項について) ・人権学習集会 	参加者: 推進委員 5人 全教職員 15人 全教職員 15人 全校生徒参加
5 月	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒・職員を対象とした人権に関する意識調査 ・第2回研究推進委員会開催 (第1回要請訪問の日程, 研究協議の進め方等) ・第1回要請訪問(人権の視点に立った授業実践) ・「人権アンケート」実施, 分析 	全校生徒, 教職員 参加者 5人 参加者 15人 参加者 17人
6 月	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめアンケートと教育相談旬間 ・県, 市教育委員会学校訪問 ・「絆」学年集会 ・「響き合いチェックカード」調査の実施 ・地域の高齢者とのふれあい集会 ・「絆」全校集会 	参加者 15人 各学年生徒, 教職員 全校生徒 全校生徒, 地域の高齢者 全校生徒
7 月	<ul style="list-style-type: none"> ・第2回要請訪問(人権の視点に立った授業実践) ・校区教育フォーラム ・一人1ボランティア活動 	参加者 17人 小中学校保護者 全校生徒
8 月	<ul style="list-style-type: none"> ・平和集会, 人権に関する映画上映 ・校内人権教育研修会及び教育相談事例研修会 	全校生徒, 教職員 全教職員
9 月	<ul style="list-style-type: none"> ・運動会で伝統文化に触れた全校活動, 学校祭学習 ・第3回要請訪問(人権の視点に立った授業実践) ・「絆」学年集会 	全校生徒 参加者 16人 各学年生徒, 教職員
10 月	<ul style="list-style-type: none"> ・人間関係づくり講座(CAPのと) ・第4回要請訪問(人権の視点に立った授業実践) ・「人権アンケート」実施, 分析 ・「響き合いチェックカード」調査の実施 ・人権教育 研究発表会 (研究授業の公開, 絆集会, 全体会等) 	参加者: 保護者 参加者 17人 全校生徒 全校生徒 350冊 配布先: 教育委員会, 教育事務所, 全小中学校 全校生徒
11 月	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめアンケートと教育相談旬間 ・思春期講座 ・第5回要請訪問(人権の視点に立った授業実践) 	参加者 17人
12 月	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめ撲滅月間 ・第6回要請訪問(人権の視点に立った授業実践) ・人権教育講演会 	参加者 15人 全校生徒, 保護者
1 月	<ul style="list-style-type: none"> ・第7回要請訪問(人権の視点に立った授業実践) ・人権教育に関するアンケート実施, 分析 	参加者 17人 全校生徒
2 月	<ul style="list-style-type: none"> ・本年度の研修のまとめ(研究の成果と課題) 	参加者 15人
3 月	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度の研修計画について ・研究報告の印刷・配付 	参加者 15人 5冊 提出先: 教育委員会等

(2) 調査研究により見込まれる成果及び検証方法

【成果】

- ・教育活動全体を通しての, 人権意識の向上とコミュニケーション能力の伸張
- ・生徒が主体的に取り組む共同的な活動を通して絆づくりを進めることによる社会性の向上

【検証方法】

- ・教員全員での模擬授業及び授業研究会の実施(指導主事の招聘)
- ・人権に関する実態調査の実施, 分析による変容の把握
- ・各種集会や行事での自己評価と教職員, 保護者等による評価交換